

平成21年 10月 5日

慶應義塾大学 グローバル COE プログラム

論理と感性の先端的教育研究拠点 平成22年度准教授・助教・研究員（常勤）

募 集 要 項

I 公 募 内 容

(1) 募集の趣旨

慶應義塾大学グローバル COE プログラム（人文科学分野）『論理と感性の先端的教育研究拠点』の研究課題「論理と感性」に深く関わる分野の研究を計画する若手研究者を雇用し、研究成果（たとえば博士論文の完成や学位取得後の国際水準の研究）の促進に寄与することを目的とする。この若手研究者は関連する対象領域の研究活動に積極的に参加することが望ましい。

※なお、研究分野としては fMRI, NIRS, TMS などの機能的脳研究、その他論理と感性に関わる研究を想定している。また、グローバル COE 活動における補助的な作業をお願いする場合もある。

(2) 公募人数：4名（国内・国外併せて）

(3) 研究期間：平成22年4月1日～平成23年3月31日  
（研究実績に基づいて延長の可能性あり）

(4) 職位：准教授、助教、または研究員（PD）

准教授・助教：博士号取得者

PD：後期博士課程修了者（単位取得退学者を含む）

(5) 給付内容 給付金額 : 慶應義塾の内規による  
従事日数、時間数 : 週4日 週30時間相当  
給付方法 : 銀行振り込みによる当月払い

(6) 成果報告：学会発表、論文発表の他、年度末の成果報告書の提出と成果報告会での発表を求める。

(7) 受け入れ先：三田キャンパス、信濃町キャンパス、湘南藤沢キャンパス、他

## II 応募資格

平成22年4月1日現在、41歳未満の者で原則として、大学院後期博士課程修了後の若手研究者。かつ、本プログラムの推進に貢献する研究を行う者。

※外国籍の方は就労活動が認められている在留資格が必要になります。

\*ただし、以下の者は対象とはならない

- ①慶應義塾、および他の教育、研究機関の専任教員である者
- ②同年度、日本学術振興会特別研究員である者
- ③留学中の者、あるいは給付期間内に海外へ留学する予定がある者

## III 応募方法

(1) 提出書類：

- ①「平成22年度 慶應義塾大学 グローバル COE プログラム  
論理と感性の先端的教育研究拠点 准教授・助教・研究員(常勤) 申請書」1部
  - ②履歴書(書式自由・写真貼付) 1部
  - ③業績リスト(書式自由) 1部
- \*学外から応募の方は下記の書類もご提出願います。
- ④推薦状(指導教授による 書式自由) 1部
  - ⑤PD：学位(博士)記のコピーまたは博士課程の単位取得証明書  
：単位取得退学見込証明書

※①の申請書は下記の本拠点ホームページからダウンロードください。

<http://carls.keio.ac.jp>

(2) 提出期限：平成22年 1月 6日(水) 必着

(3) 申請書提出先：

慶應義塾大学 人文グローバル COE 論理と感性の先端的教育研究拠点 事務局  
住所：〒108-0073 東京都港区三田3-1-7 三田東宝ビル7階  
e-mail : keiocarls@info.keio.ac.jp

※応募書類は郵送にてのみ受付いたします。

※封筒の表に『COE 准教授・助教・研究員応募書類』と朱書きください。

※提出して戴いた書類は採用審査の用途に限り使用され、これらの個人情報とは正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与することは一切ありません。

※応募書類は返却いたしません。

#### IV 審査方法

##### (1) 審査方法

公募案件の審査は、人文グローバル COE プログラムの幹事会（拠点リーダー：渡辺 茂）において行われる。

##### (2) 審査手順

提出された書類について、応募の要件を満たしているか等を確認の上、グローバル COE の教員が申請書の内容に基づき、評価を行う。なお、面接を行う場合もある。

以上